|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | がんアライアワード2024　応募シート |

貴団体名（正式名称）

従業員数（〇〇名）

業種

担当者

メールアドレス

----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■記入するときのポイント

①貴団体名は正式名称を記入ください。アワードに関連する資料等はこちらに記入いただいた名称で取り扱わせていただきます。

（特に、全角・半角、アルファベット・カタカナ等の書き分けにご留意ください）

②記入いただいた内容は、がんアライ部のウェブサイトやSNS・表彰式当日の事例紹介等各所に掲載します。

審査に必要と思われる情報で、掲載不可の情報がありましたら、蛍光ペン (黄色)で記入してください。

③過去に導入したこと・実施したこと、最近取り組み始めたもののどちらもチェック、記載いただけます。そのうち「最近（23年7月

以降に実施）に取り組み始めたもの」は、「ベストプラクティス」の評価対象となります。対象となるものは、**赤字で記入**ください。

④**青字は記入例**です、記入の際の参考にしてください。お手数ですが、実応募時には消してください。

⑤各項目のチェックリストとコメント欄のすべてを記入せずともご応募可能です。自社のこれまでの取り組みを表すものをチェック、

　記入をお願いします。

※昨年度受賞企業事例集は[こちら](https://www.gan-ally-bu.com/report/3794)。

【１】働く人を支える制度・　体制

1. 基本方針等の表明…がんと就労に関する基本方針や考え方を定め、表明していますか？あるいはがんに限定していなくとも、社員の健康や安全に関する基本方針等を定め、表明していますか？
2. 表明の有無について　（いずれかを選択）

　社内に対して表明　　社外に対して表明　　社内外に対して表明　　特に表明していない

（２）表明しているものを選択してください（複数選択可）

　健康経営宣言　がんアライ宣言　　その他の宣言

|  |
| --- |
| ＊基本方針の名称やその概略、表明の方法等を記入してください  例）■健康経営宣言…2020年に「●●●●●」という健康経営宣言を、社長が全社会議で行った。宣言後、社員が健康で、イキイキと働けるように各種健康増進施策を開始　　■がんアライ宣言…がんアライアワード2023応募時に宣言。オンライン朝礼にて全社員に周知 |

1. 休暇制度…がんに罹患した社員が活用できる休暇制度はどのようなものがありますか？（がんに特化した休暇でなくとも、罹患者も含めた社員が広く使える休暇制度も含めていただいて構いません。）

　・導入している休暇制度をチェックしてください（複数選択可）

傷病・病気休暇制度　　傷病・病気休職制度　失効有休休暇積立制度　半日単位の有給休暇取得　時間単位の有給休暇取得　その他の休暇制度

|  |
| --- |
| ＊導入している休暇制度やその概略を記入してください。  例）■傷病休暇制度…長期療養が必要な私傷病（がん含む）に罹患時は、年次有給休暇とは別に、最長2ヶ月間の傷病休暇を付与　■時間単位有休…年2日分の時間単位有休を付与。（2022年、罹患社員の要望を元に制度化） |

1. 勤務制度…がんに罹患した社員が活用できる勤務制度はどのようなものがありますか？（がんに特化した勤務制度でなくとも、罹患者も含めた社員が広く使える勤務制度も含めていただいて構いません。）

・導入している勤務制度をチェックしてください（複数選択可）

時差出勤制度　　フレックス勤務制度　在宅勤務（テレワーク）制度　長期入院時等の病室からのテレワーク勤務制度　サテライトオフィス勤務制度　短時間勤務制度　　短日勤務制度　試し出勤制度（復職前、業務は行わず一定期間継続して出勤する等の制度）リハビリ出勤制度（復職後、休職前の勤務時間より短時間で勤務する等の制度）　カムバックに関する制度（離職した社員の再雇用に関する制度）　その他の勤務制度

|  |
| --- |
| ＊導入している勤務制度やその概略を記入してください  例）■フレックス制度…本社、支社勤務社員を対象に、コアタイム10:00～15:00のフレックスタイム制を導入　■試し出勤制度…復職前に一定期間（期間は産業医のアドバイスも元に設定）オフィスに出勤して、継続的に出社できる状態かどうかを本人と会社の双方で確認しあう |

1. 支援体制…がんに罹患した社員を支えるための体制はどのようなものがありますか？（がん罹患社員だけを支えるものでなくても、社員を広く支える体制・仕組みを含めていただいて構いません。）

・導入している支援体制をチェックしてください（複数選択可）

社員相談窓口の設置　保健師・産業医等の医療職の支援　　外部医療機関との連携　□外部支援サービス（EAP等）の活用　□上司等との1on1、面談等の機会　□人事担当者等との面談等の機会　□主治医との書面上での情報連携　□人事担当者等による受診時同行（主治医との直接の意見交換）（休職を要さない場合）両立支援プランの策定・実行　休職中のフォロー　　（休職した場合）職場復帰支援プランの策定・実行　　復職後のフォロー　　その他の支援体制

|  |
| --- |
| ＊導入している支援体制やその概略を記入してください  例）■なんでも面談…上司と部下の月1回のマンツーマン面談。業務に限らず、プライベートのことも部下が自由に話すことができる。これにより、なんでも上司に相談できる関係性が構築できている　■両立支援プラン…様式はイントラネット上からダウンロード可能に。本人が治療しながら就業することを希望している場合に、本人、人事、産業医でコミュニケーションしながら作成し、無理のないプランを策定している |

1. 健康増進支援　　…がんの早期発見につながる取り組みや社員の健康増進のために行っている支援・施策はどのようなものがありますか？

・導入している健康増進支援をチェックしてください（複数選択可）

健康診断受診率増加に向けた取り組み　健康診断受診率100%達成　　がん等の任意検診受診費用の補助　人間ドッグ費用の一部補助　人間ドック費用の全額補助　再検査費用の一部補助　再検査費用の全額補助　健康診断で「要検査」となった人のサポート　必要に応じた産業医・保健師の面談　定期的な産業医・保健師との面談　禁煙に関する取り組み　日常的な健康増進に関する取り組み（運動習慣獲得、食事管理、睡眠管理等）　健康増進イベントの開催　健康管理に関するアプリの配布　休憩室の整備　　その他健康増進支援

|  |
| --- |
| ＊導入している健康増進支援やその概略を記入してください  例）■人間ドック費用の全額補助…40歳以上の社員は、年に1回の人間ドックを全額会社負担で受けられるようにしている　■保健師面談…全国の事業所に保健師を配置し、健康面での相談を本人希望でいつでも受けられるようにしている |

1. その他の制度・体制…その他、がん罹患社員を支えるための制度・体制があれば教えてください。

|  |
| --- |
| ＊その他の制度・体制やその概略を記入してください  例）■面談室の設置…社員の健康に関する相談にいつでものれる専用の部屋を設置。2021年に設備をリニューアルし、周囲の目を気にせず利用できるようにしている　■医療用ウィッグの無償貸与…抗がん剤治療によりアピアランスケアが必要になった社員に対して、希望があれば無償貸与できるようにしている |

【２】働く人を支える風土、環境

1. 啓発、研修…がん罹患者やその同僚となり得る全ての従業員や管理職に対しての、治療と仕事の両立に関する

研修等による意識啓発の取り組みがあれば教えてください。

・導入している啓発、研修をチェックしてください（複数選択可）

社員向けのがんに関する研修　上長・管理職向けの両立支援に関する研修　　女性向けのがんに関する研修　がんに関するe-ラーニングコンテンツの提供　　罹患者の体験談を聞く機会の提供　その他啓発、研修

|  |
| --- |
| ＊がんと就労に関連した研修、勉強会等の実施内容や頻度等を記入してください  例）■女性の健康に関する研修…女性の健康に関するオンライン研修（動画配信）を2020年から実施し、誰でも見られるようにしている。一部コンテンツは社員の家族も見られるようにし、家族も含めたリテラシーの向上につなげている　■ラインケア研修（部長向け）…部下のメンタルヘルスや体調不良等に対する相談対応や復職支援に関する内容を昇格時に研修を通じて伝達している |

1. 情報発信…従業員に向けて、がんや治療と仕事の両立支援に関する情報発信をしている取り組みがあれば教えてください。

・導入している情報発信をチェックしてください（複数選択可）

イントラネット、社内ポータルサイト等での情報発信　メルマガ等での情報発信　社内報等での情報発信　両立支援に関するハンドブック・ガイドブックの配布　ポスター等の掲出　　罹患者の体験談を見られる機会の提供　その他情報発信

|  |
| --- |
| ＊がんと就労に関する情報を発信している媒体やツール名、発信内容等を記入してください  例）■イントラ掲載での情報発信…2018年度から治療と仕事を両立する社員の体験談をイントラに掲載。匿名・写真なしで可としているが、最近は徐々に実名・写真入りでの掲載希望が増えている　■社長メッセージ（メール）…2022年1月、社長からがん予防と早期発見に向けた検診受診のお願いなど、健康に関するメッセージを全社員宛にメール発信した |

1. コミュニティ…がん罹患社員同士のピアサポートの仕組みなど罹患者を含めたコミュニティについての取り組みがあれば教えてください。

・導入しているコミュニティをチェックしてください（複数選択可）

がん罹患者・経験者同士のコミュニティ　　その他のコミュニティ

|  |
| --- |
| ＊がん罹患者が参加できる社内外のコミニティの名称、活動目的、活動内容等を記入してください  例）■患者会…社内のがん罹患者の希望者が集まり、定期的にリアル・オンラインでコミュニケーションができるようにしている。　■他社交流…2022年、●●社の罹患者コミュニティと自社の患者会の合同で情報交流のイベントをオンラインで実施。より幅広い内容での情報交換ができ、参加者からは継続的な開催への希望が多く、現在企画中 |

1. 対外的な活動…がんと就労に関するイベントへの参加、協賛、セミナー等での登壇、公的な委員会等への参画や自社の取り組みを社外に発信する活動等をしていれば教えてください。

・実施している対外的な活動をチェックしてください（複数選択可）

がんに関する公的機関の委託事業等へ参画　がんに関する民間団体等への参画　がんに関する社会的な活動への参加　がんに関する社会的な活動への協賛　がんに関するイベント・セミナー等への登壇　　その他の対外的な活動

|  |
| --- |
| ＊がんと就労に関する取り組みで対外的に実施している内容を記入してください  例）■2020年～、一般社団法人●●のオンラインイベントにおいて、協賛企業、運営ボランティアとして参画。セッションでは自社の取り組みについて紹介　■企業コンソーシアムへの参加…2023年●●省委託事業の企業コンソーシアムに参画。会議、研修会を通じて、両立支援対策に積極的に取り組んでいる |

＜５＞その他の風土・環境…その他、がん罹患社員を支えるための風土・環境に関する取り組みがあれば教えてください。

|  |
| --- |
| ＊その他の風土・環境に関して実施している内容を記入してください  例）■対応力の向上…2021年から毎年、社外の「ピアサポーター育成研修」へ人事担当者と希望者を派遣（これまでに計7名参加）。罹患者からの相談がいつあっても、ハートフルな対応ができるように準備をしている　■ステッカーの配布…LGBTQ、病気治療中の社員の支援のためステッカーを作成し、賛同者に配布。PCや携帯電話に貼ることを推奨している。支援が必要なときに相談しやすい風土づくりにつながっている |

【３】エピソード・思い

これまでに記入されていない内容で、がんと就労に関する取り組みや思い、エピソードをご自由に記入ください。

前回アワード以降に取り組んだことやご苦労のお話、実際に社員ががんに罹患された際の対応に関するエピソード、

制度・体制構築や環境・風土づくりに関する思いなど、ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| 例）今年は新しい取り組みを形にすることがなかなかできなかったが、例年開催している健康増進イベントの裾野を広げるために各種コミュニケーションツールを使って告知をして、昨年に比べて倍（40人）の参加者を記録できた |

-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■がん治療と仕事の両立に関する取り組みを実施したきっかけをお教えください。

|  |
| --- |
| 例）2018年社員がんに罹患したことがきっかけで、休暇制度の再構築や上司と部下との面談の仕組みを開始 |

■一言…これからがんと就労に関する取り組みをはじめる・進めている企業の担当者に、応援のメッセージをご記入ください。

|  |
| --- |
| 例）がんアライの輪がさらに広がるように、一緒に頑張りましょう！ |

以上です。ご記入いただき、ありがとうございました。